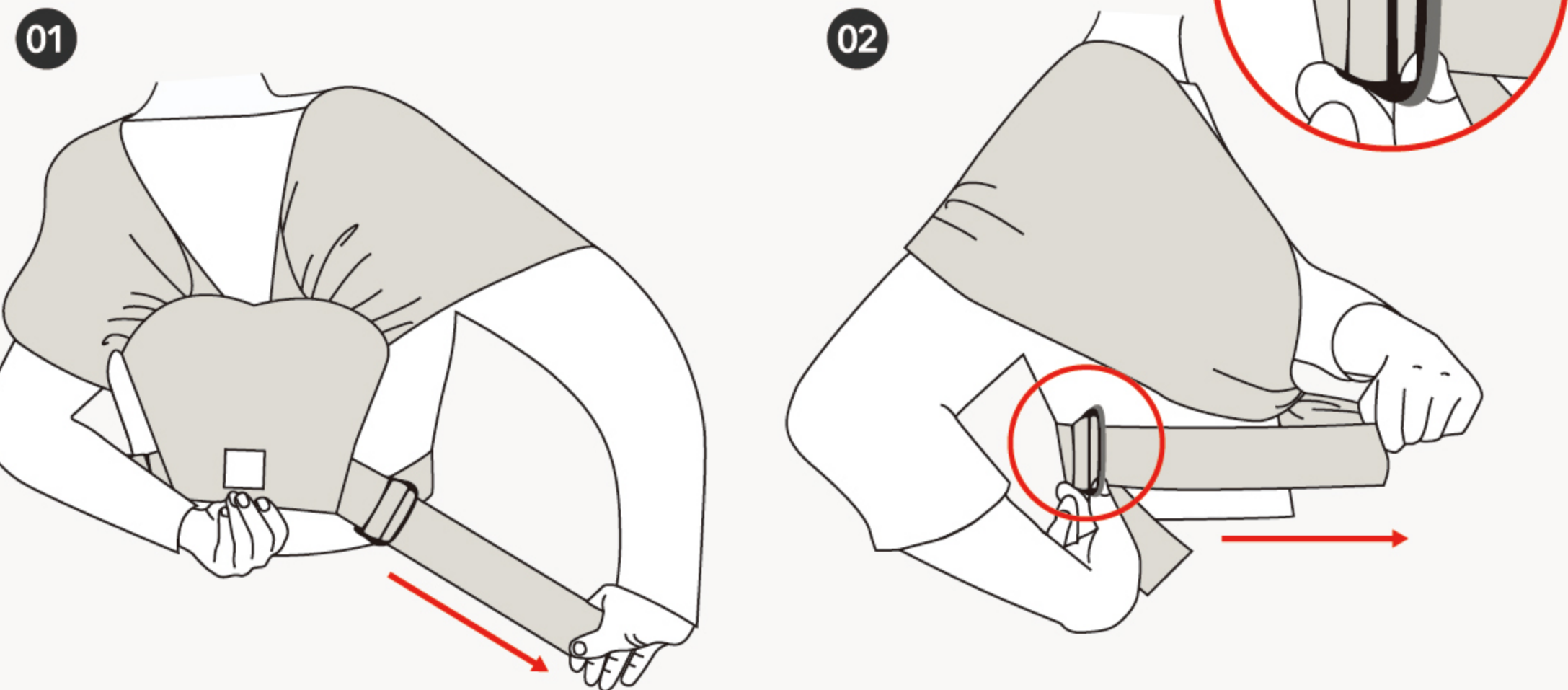


ベルトの調節方法

抱っこ紐を装着した状態での調節



締め方

片手で背板をつかみながら、もう片方の手でゴムバンドのあるベルトの先端を持って矢印の方向にベルトを引きます。
赤ちゃんの重さで引っ張りにくい場合は片手で赤ちゃんを持ち上げた状態でベルトを引っ張ってください。
※赤ちゃんを抱っこした状態でサイズ調節の際は安全に気を付け、一気に緩めるのではなく、赤ちゃんを支えた状態で少しずつ緩めてください。

緩め方

片方の手でアジャスタを立たせて、もう片方の手で肩布と調節ベルトの連結部分を持ち、矢印の方向に引きます。

サイズ調節目安

※この目安はあくまでも目安です。
骨格や着る洋服の厚さ、胸の大きさによって合わせる目盛りが異なります。
この目安はあくまでも参考にして頂き、赤ちゃんのお尻がママやパパのおへそ辺りにくるようにサイズを調節してください。

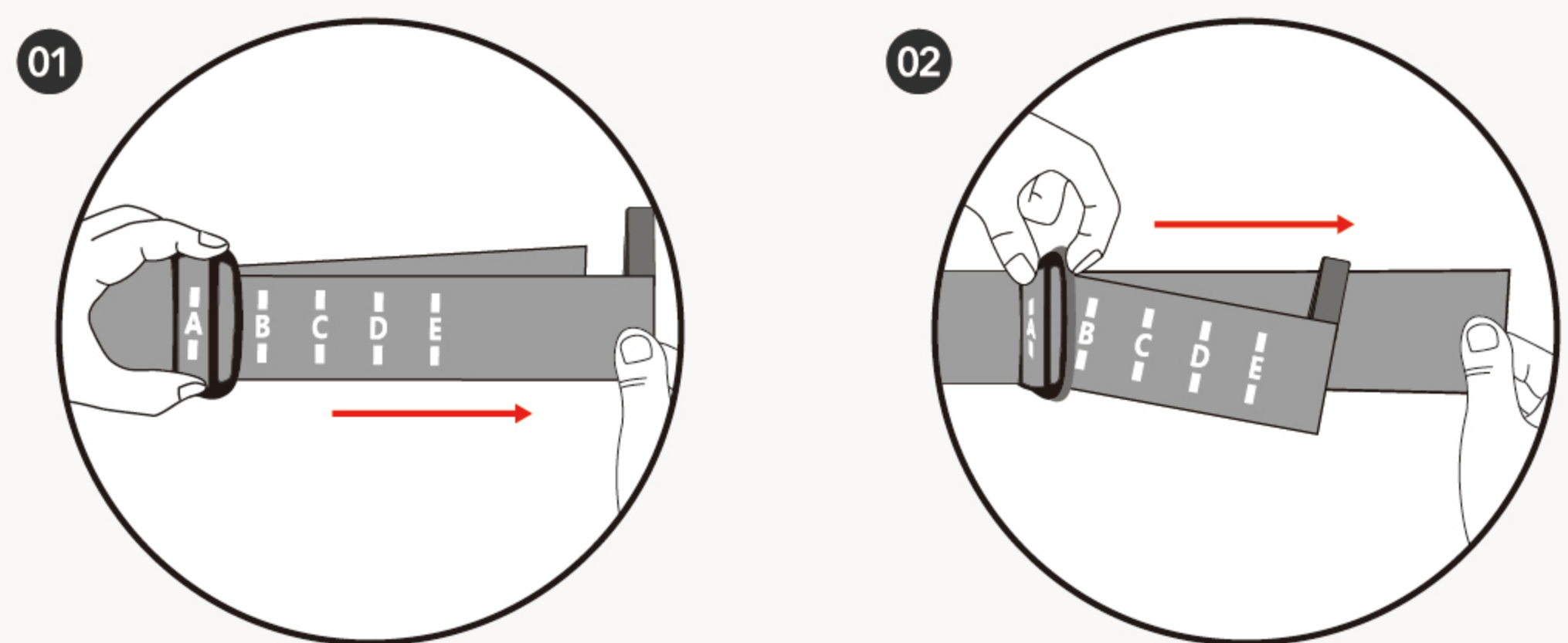
女性		男性	
スタッフA 154cm 45kg S(上下とも)	目盛り 3.5	スタッフA 173cm 71kg Lサイズ31インチ	目盛り 9
スタッフB 158cm 52kg S(上下とも)	目盛り 4.5	スタッフB 185cm 73kg XLサイズ、33インチ	目盛り C
スタッフC 150cm 54kg M(上下とも)	目盛り 5		
スタッフD 153cm 58kg M(トップス)L(ボトムス)	目盛り 6.5		
スタッフE 164cm 65kg L(上下とも)	目盛り 7.5		
撮影モデル 164cm 50kg S(トップス)M(ボトムス)	目盛り 5		



当日の服装やコンディションにより細かくサイズ調節すると、より快適にお使い頂けます。

※上記のサイズ調節の目安はあくまでも目安となっております。
お一人お一人の体格、骨格が異なりますので、必ず本格的なご使用前に何度かお子様を抱っこしてちょうどいいサイズを探してからご使用を開始してください。
※サイズ調節機能で全ての体格の方がお使いになれる訳ではございません。予めご了承下さい。
(女性XSかもしくはそれより小柄な方、男性XL以上またはXLでも特にお腹が出ている方など)
※赤ちゃんを抱っこしてから調節ベルトを締める際は赤ちゃんの重さで締めにくい場合があります。
※赤ちゃんを抱っこした状態でアジャスターを勢いよく立てると急に緩くなることがありますので、アジャスターはゆっくりと少しずつ立てるようにしてください。

装着前の調節方法



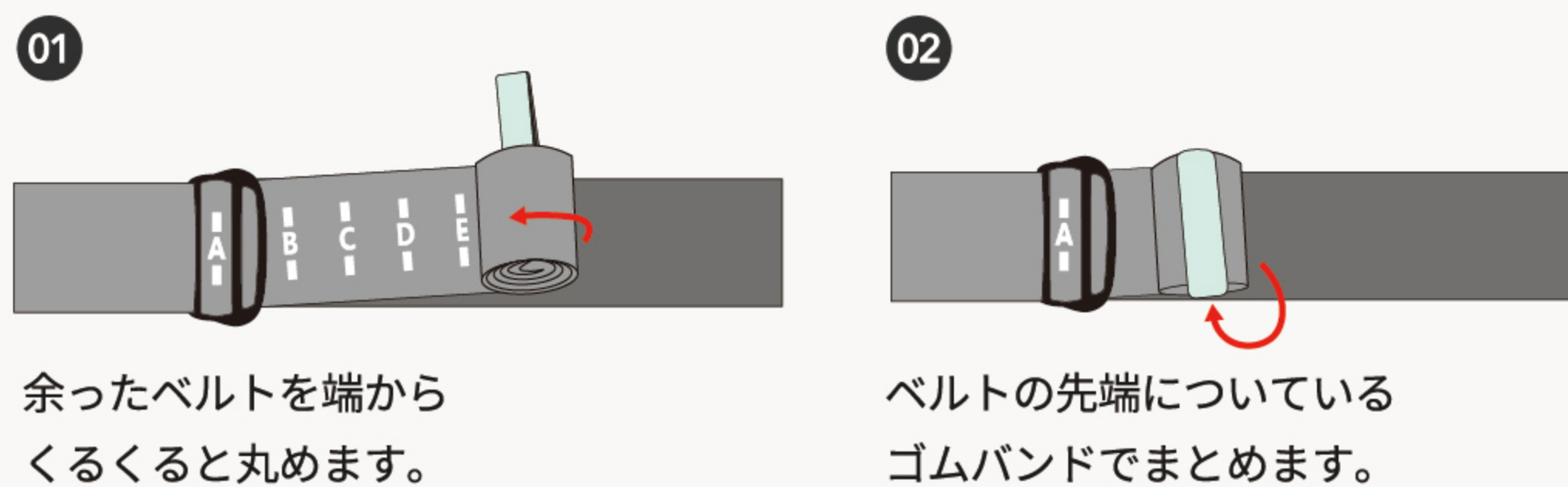
締め方

片方の手でアジャスター部分を持ち、もう片方の手でゴムバンドのあるベルトの先端を持って矢印の方向に引きます。

緩め方

片方の手でアジャスターを立たせ、もう片方の手で肩布とベルトの連結部分を持ち、矢印の方向に引きます。

余った調節ベルトをまとめる方法

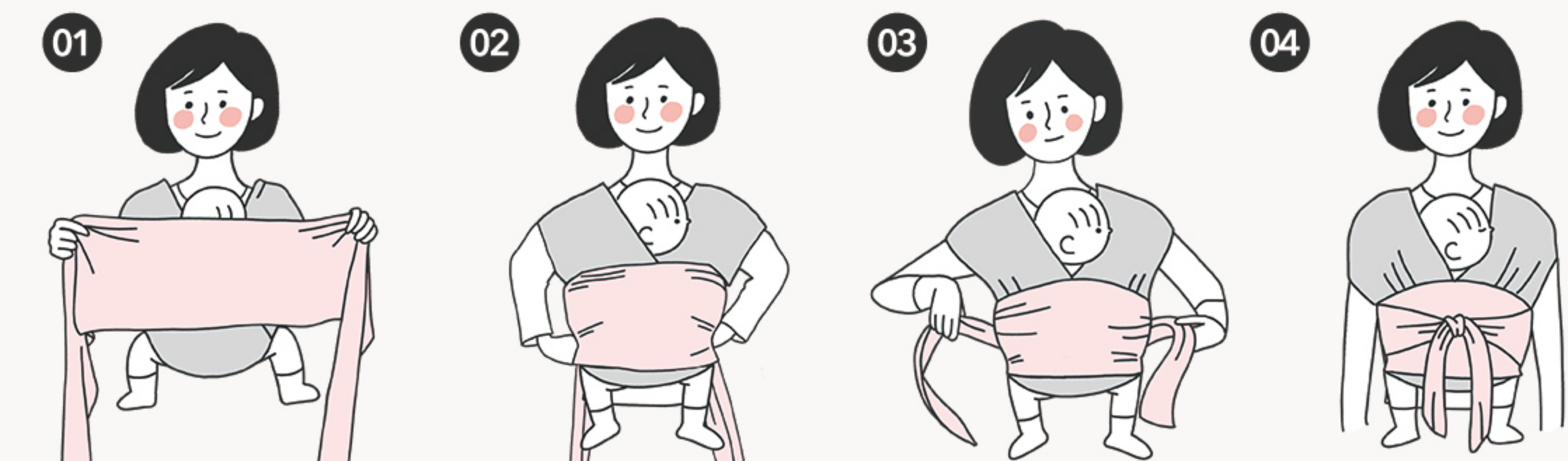


余ったベルトを端からくるくると丸めます。

ベルトの先端についているゴムバンドでまとめます。

補助ベルト・ヘッドサポートパッド装着方法

補助ベルト(腰装着Ver.)



補助ベルトを広げ、真ん中あたりを持ちます。

補助ベルトの真ん中を両肩布が交わる部分(赤ちゃんの背中やお腹)に当てます。

補助ベルトの両端をママやパパの背中で交差させます。

交差させた補助ベルトを前に回し、赤ちゃんの背中やお腹のところで結びます。

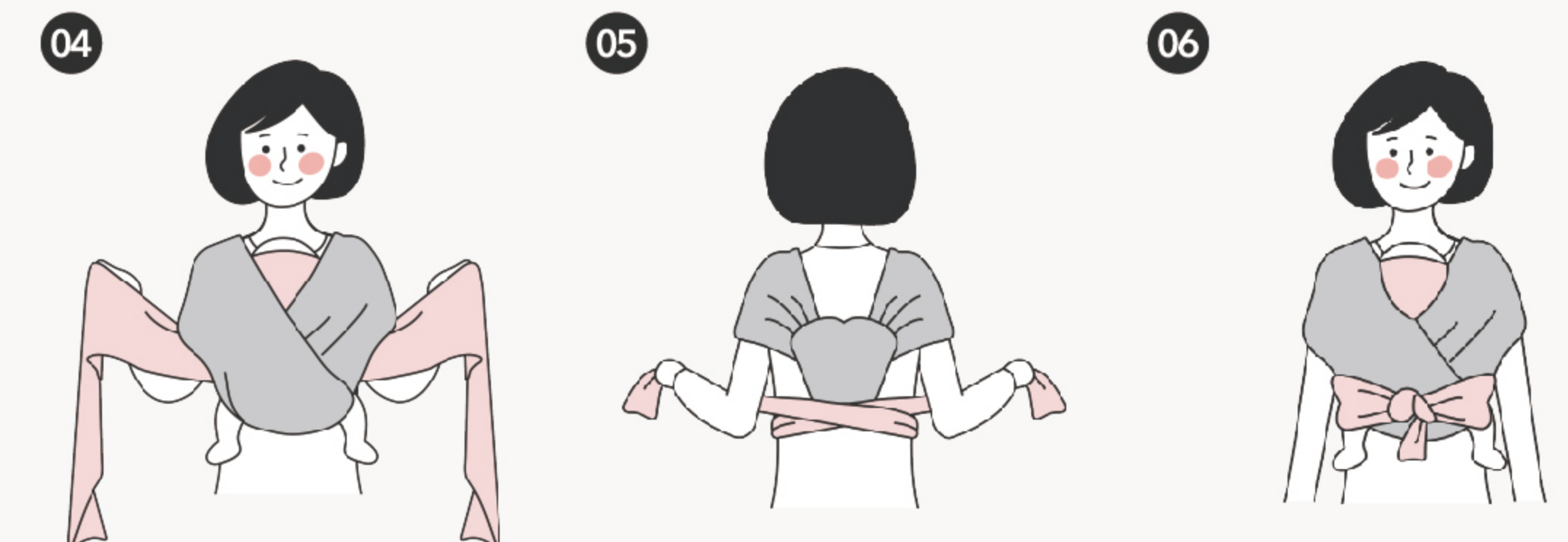
補助ベルト(ヘッドサポートVer.)



補助ベルトの袋状になっている部分にメッシュパッドを入れます。

袋状の入口を下に向け、補助ベルトの片側を抱っこ紐の肩布の内側から入れながらパッドを赤ちゃんの後頭部に当てます。

パッドを赤ちゃんの後頭部に当てたまま、入れていた補助ベルトの片側を最後まで出します。

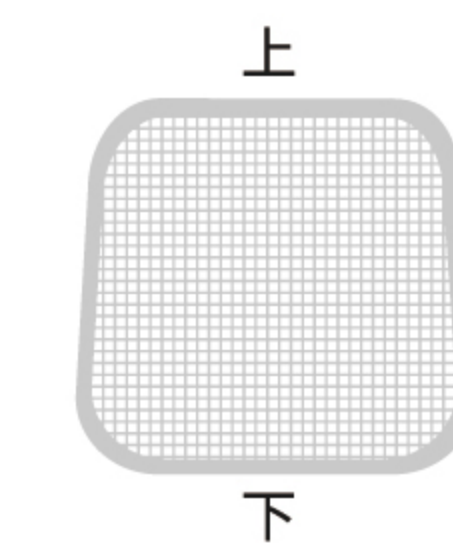


もう一方の補助ベルトも抱っこ紐の肩布の下側から出します。

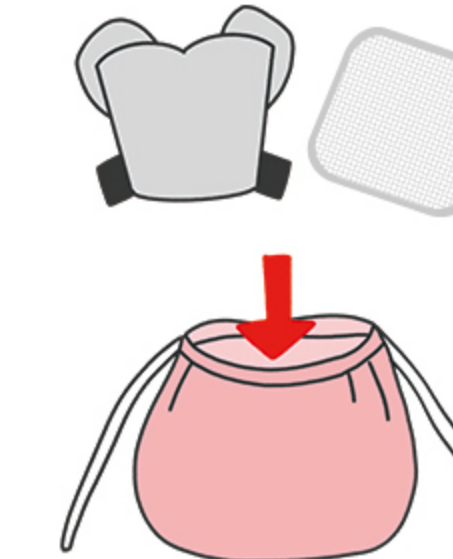
補助ベルトを背中でクロスさせます。

赤ちゃんの腰、お尻辺りで結びます。

ヘッドサポート機能を利用する際は必ず赤ちゃんの様子や状態を常時確認し、落下することがないように十分お気を付けください。



ヘッドサポートパッドは写真のように上下があります。補助ベルトに入れる際は上の幅が狭い方から入れてください。

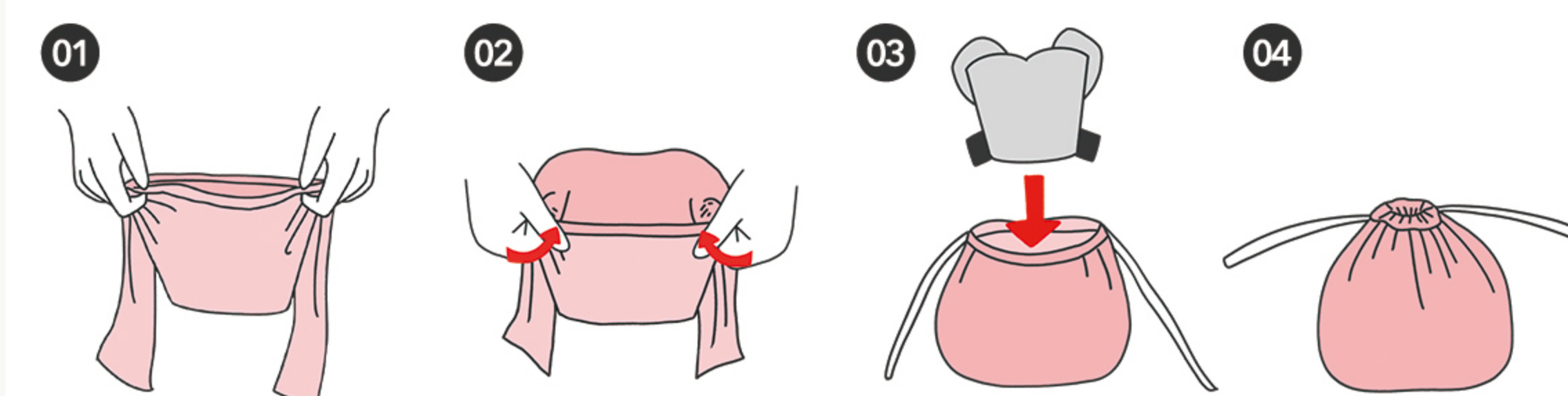


補助ベルトの収納ポーチに抱っこ紐を入れる際、ヘッドサポートパッドも一緒に収納可能です。通常の補助ベルト装着の際もポケット部分に入れて置いて、補助ベルトを装着頂くと紛失の恐れもありません。

補助ベルト・ヘッドサポート注意事項

- 補助ベルト(腰装着Ver.)は新生児抱き及び前向き抱っこ、首がすわった後の対面抱きでご使用ください。
- 補助ベルト(ヘッドサポートVer.)は首すわり前の対面抱きや首がすわった後も赤ちゃんが寝てしまった時などにご使用ください。
- 補助ベルト(ヘッドサポート)を使用する間も大きく動くことや突発的な事態に備え、赤ちゃんの頭や体を手で支えてあげると安全です。
- ヘッドサポートパッドは赤ちゃんの頭を支えるためのものですが、赤ちゃんや抱っこするママやパパの動きによってはずれたり、頭が後ろに倒れたりすることがあるので、ご使用時は常に注意してください。
- ヘッドサポートパッドを補助ベルトに入れた後、装着する際は袋の入口を下に向けて装着してください。入り口を上に向けて動くとパッドがはみ出してしまいます。
- 長時間使用する際には補助ベルトが緩くなることがあるので、頻繁に確認してください。
- 補助ベルトを結ぶ時は、赤ちゃんの呼吸空間をしっかりと確保し、赤ちゃんが息苦しくならないよう注意してください。きつく結びすぎると窒息の恐れがあります。
- 生後5か月以降の赤ちゃんにヘッドサポートパッドを装着すると赤ちゃんの身長により、ヘッドサポートパッドと抱っこ紐の間に隙間が生じる場合がございます。隙間が生じた場合、動きに合わせてヘッドサポートパッドがずれやすくなりますので、ご了承ください。

補助ベルト → 収納ポーチ



補助ベルトのポケット状になっている部分を広げます。

広げた部分を裏返し、両側のベルトをポーチの中に入れます。

抱っこ紐を畳み、ポーチの中に入れます。

両側の紐を引っ張り、ポーチの完成です。



スモルビ軽量すやすや抱っこ紐

オールシーズン用



Feels so right

オーストリアのLenzing社テンセル™モダール繊維使用
TENCEL™及びテンセル™はLenzing AGの商標です。



生分解性



長続きする
柔らかさ



通気性の向上



静電気を
最小限に抑制

メッシュサマー用



爽快さ、快適さまで兼ね備えた未来型繊維使用



抗菌防臭



紫外線カット



吸湿速乾



遠赤外線放射

QRコード

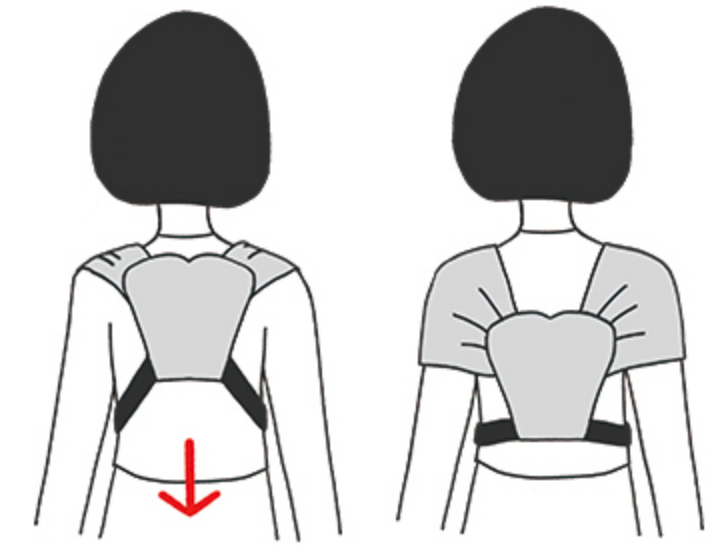


株式会社スモルビ
千葉県船橋市山手2-13-24-2
TEL 03-6777-4884
MAIL info@smorbi.co.jp
スモルビ公式ショップ www.smorbi.jp
スモルビ楽天市場 スモルビヤフー店 スモルビwowma店

基本装着



抱っこ紐をX字になるよう広げ、Tシャツを着るようにかぶります。クロスしているX字の間から両腕を出します。



背板の下段部を持ちながら引っ張り、腰のすぐ上まで背板を下ろしてください。背板が上へ上がっていると赤ちゃんの体重をバランスよく分散させることができず、肩や腰に負担がかかってしまう恐れがあります。



ねじれ防止マーク

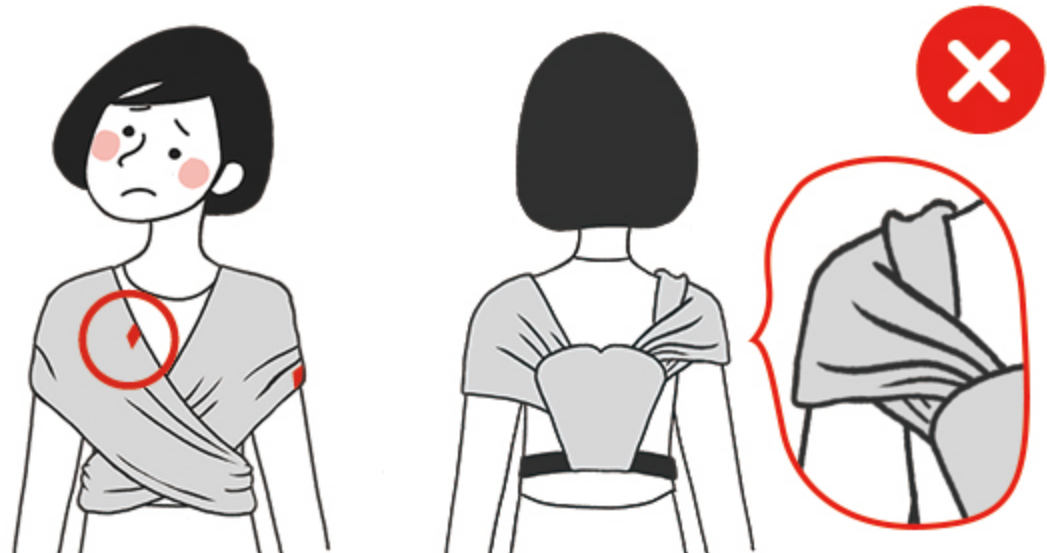


正しい肩布

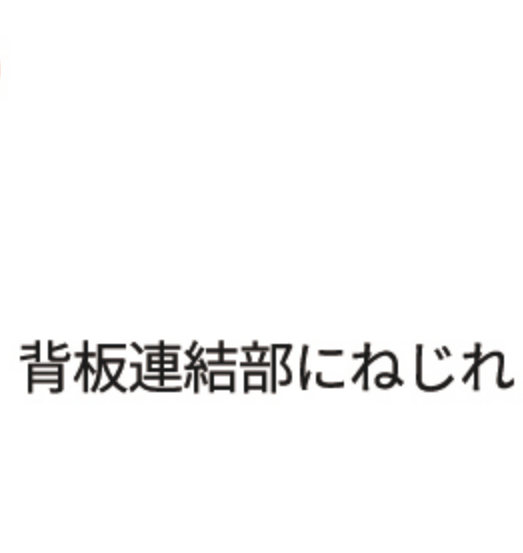
両肩布にねじれ防止マークがついています。

肩布を広げる前にねじれ防止マークを確認してから肩布を広げてください。

肩布をしっかり広げることで赤ちゃんの体重を体全体に分散することができます。



マーク位置が胸側



背板連結部にねじれ

ねじれている肩布

ねじれ防止マークが胸側にあると肩布がねじれている証拠です。

ねじれ防止マークが腕側にくるように肩布を直してください。



正しい位置 (へそ辺り)



正しい位置 (M字開脚)



正しくない位置 (へそより下)

赤ちゃんのお尻がママやパパのおへそか、おへそより少し上にくるようサイズを調節してください。

また左右の肩布をきちんと広げないと赤ちゃんの足が左右対称及びM字になりません。

左右の肩布を同じくらいしっかり広げ、

赤ちゃんの膝裏あたりまでくるようにしてください。

新生児抱っこ



基本装着後、赤ちゃんを右腕に抱き、左側の肩布を開いて赤ちゃんが入る空間を作ります。



できた空間に赤ちゃんを入れます。赤ちゃんが苦しがないよう対面または少し斜めに入れてください。



左の肩布で赤ちゃんの肩、背中、お尻部分をしっかりと包み込んでください。赤ちゃんの上半身はなるべく立てるようにしてください。



右側の肩布を広げ、赤ちゃんの体を包み込みます。左右どちらかの布で赤ちゃんの後頭部を支えてください。赤ちゃんが窮屈そうにしていなかが確認してください。



補助ベルトを巻いて赤ちゃんを固定します。赤ちゃんが抱っこ中に立つような(足を伸ばす)姿勢をとるようになったら、対面抱っこに移行してください。

対面抱き(生後2か月頃～)

※赤ちゃんが新生児抱きを嫌がる場合は生後30日を過ぎれば対面抱きへ移行可能。



基本装着後、赤ちゃんを右腕に抱き、左側の肩布を引っ張り、足を入れる空間を作ります。



できた空間に赤ちゃんの右足を入れてください。



左側の肩布を広げながら赤ちゃんの背中とお尻部分をしっかりと包んでください。



左手で赤ちゃんを支えながら、右側の肩布を開き、赤ちゃんの左足を入れてください。



右側の肩布を広げながら赤ちゃんの肩、背中、お尻を包んでください。



補助ベルトを巻いて赤ちゃんを固定します。

前向き抱っこ(生後6か月～)



基本装着後、赤ちゃんを右腕に抱き、左側の肩布を引っ張り、足を入れる空間を作ります。



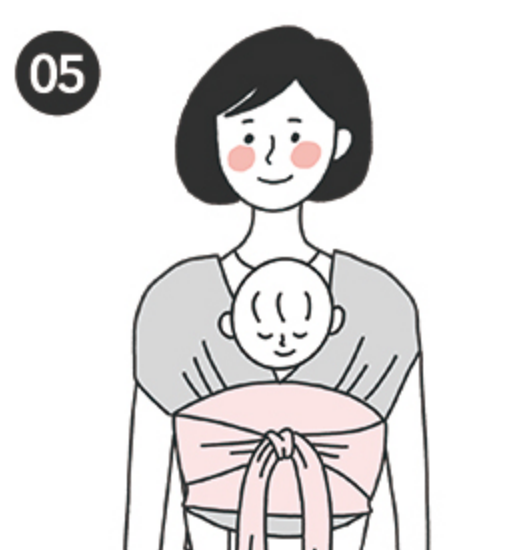
できた空間に赤ちゃんの左足を入れてください。左側の肩布を広げながら赤ちゃんの胸、お腹、お尻部分をしっかりと包んでください。



左手で赤ちゃんを支えながら、右側の肩布を開き、赤ちゃんの右足を入れてください。



右側の肩布を広げながら赤ちゃんの体全体を包んでください。

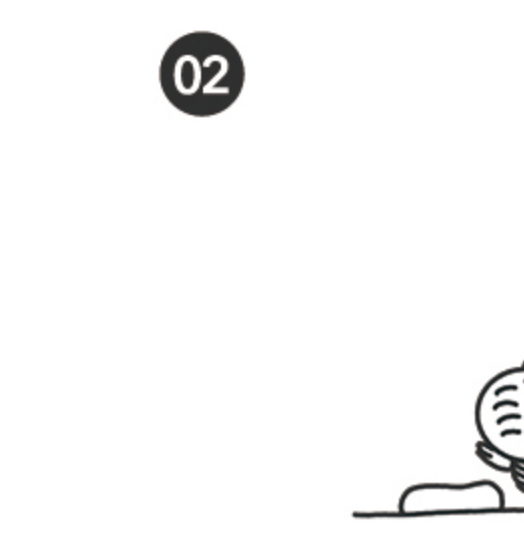


補助ベルトを巻いて赤ちゃんを固定します。首がしっかりとすわる前の赤ちゃんには前向き抱っこはしないでください。長時間の抱っこや寝てしまう可能性が高い時は対面抱っこで抱っこするようにしてください。

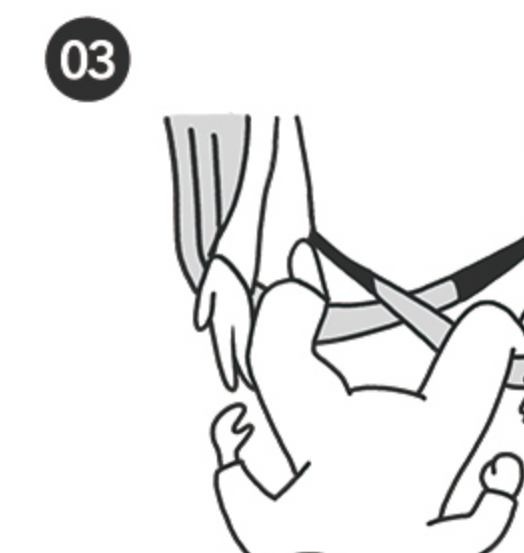
寝た赤ちゃんを下す方法



赤ちゃんを片手で支えながら、肩布を赤ちゃんのお尻の下にずらします。



赤ちゃんをゆっくりベッドや布団に寝かせます。(赤ちゃんを下しながら、ママやパパも一緒に体を曲げて赤ちゃんとの密着度が下がらないようにすると起きにくくなります。)



肩布をゆっくり引き抜き、赤ちゃんの足を抱っこ紐から抜きます。

ラクラク呼吸&はむはむ防止機能



低月齢の赤ちゃんは呼吸空間確保、また赤ちゃんのはむはむ防止のために肩布が簡単に折り曲げられるデザイン。呼吸確保やはむはむが気になる時は赤ちゃんの顔がある方の肩布を折り曲げてください。

TIP これは何よりも大事です！

赤ちゃんも抱っこする人も楽に快適に使うためには抱っこ紐を可能な限りタイトに装着すること！

抱っこ紐を装着した時に「これで赤ちゃんが入る?」「赤ちゃんがきつくないかな?」というくらいがちょうどいいサイズです。

抱っこ紐がタイトでないと赤ちゃんが下に下がり、赤ちゃんの体重が肩に集中してしまったり、赤ちゃんが激しく動くことで落下等の危険が生じます。完璧に密着することで赤ちゃんの体重を感じにくくし、抱っこしている時間が楽に感じられます。

抱っこ紐を装着した時に赤ちゃん和妈妈の間に手が入らないくらいの密着感で赤ちゃんを抱っこするのが一番楽に抱っこできるポイントです。

タイトな装着感で密着度が高まることで赤ちゃんも安心してすぐに寝てくれますので、できるだけタイトに装着してください！

肩布をしっかり広げることで赤ちゃんの体重が分散されるので、使用中に肩布が肩に上がってきた場合は随時広げるようにしてください。

YouTube

SMORbi公式
YOUTUBEチャンネル



商品使用方法を
動画にてより詳しく
ご案内しています！

Instagram

@smorbi_jp



限定イベントや
商品レビューが
ご確認頂けます！

LINE

SMORbi公式LINE
商品使用相談サービス



チャットでお気軽
お問い合わせください。
(ビデオ通話相談：要予約)

注意事項

- 取扱説明書をよく読み、正しく調節してご使用ください。
- ご使用前にバックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。異常がある状態で使用すると事故につながるおそれがあります。

警告! 注意事項を守らないと「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。

- 本製品は安全を確保するための装備ではなく、乳幼児を抱っこする際に使用する補助製品です。
- 本製品は新生児(約3KG)から最大体重20KGまで使用可能です。
- 開口部から乳幼児が落下するおそれがあります。特に着脱時にはご注意ください。
- 身体を傾ける際に乳幼児が落下しないように注意し、必ず手で乳幼児を支えてください。
- 乳幼児の頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げて屈むようにしてください。
- 乳幼児の落下を防ぐため、抱っこ紐は正しいサイズに調節し、正しく装着してください。
- 乳幼児が滑り落ちる可能性があるため、抱っこする場合は大きく前屈みにならないようにしてください。
- 生後4か月未満の乳児は保護者の身体に顔を強く押しあてられると窒息するおそれがあります。
- 補助ベルト使用の際は乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けずに、乳幼児が頭を動かす余裕があるように装着してください。
- 早産児、呼吸器疾患等のある乳幼児は生後1か月であっても対面抱きはせずに新生児抱きにしてください。
- 着脱は安全な場所で、できる限り低い姿勢で行ってください。(周りの人に介添えしてもらおうが望ましい。)
- 首のすわっていない乳児に使用する時には必ず乳児と対面の姿勢でのみ抱っこし、ヘッドサポートパッドを使用するか、肩布に乳児の頭を入れてください。
- 使用前に毎回製品の状態(破損の有無等)を確認後、ご使用ください。装着後も緩みがないか必ず確認してください。
- 乳幼児の頭で前方、特に足下の視界が妨げられるおそれがありますので、歩行の際は注意してください。
- 授乳後30分程度は乳幼児のお腹を圧迫することがあり、消化吸収を助けるため抱っこ紐の使用はお控えください。
- 連続して使用する時は体調の変化や装着状況の確認が必要なため、2時間以内としてください。
- 使用の際は乳幼児の状態に常時注意しながら使用してください。
- 体調がすぐれない時や身体に痛みを感じたら使用をお控えください。
- 本製品で横抱き、おんぶはできません。
- 補助ベルトは月齢に関わらず、安全性を高めるものですので使用してください。
- どの抱き方でも乳幼児の上半身は立てて抱っこしてください。
- 本製品を使用しながら料理や運転、自転車、運動をしないでください。
- 新生児抱きを嫌がったり、抱っこ紐の中で足を伸ばす仕草を始めた時、及び生後1か月を過ぎていれば対面抱きにしてください。

洗濯方法

- 単独での手洗い洗濯を推奨。
- 洗濯機を使用する際は必ず洗濯ネットを使用し、バックルが内側になるよう量み、おしゃれモードで洗濯してください。
- 30度以下の水で、必ず中性洗剤を使用して洗濯してください。(弱アルカリ性洗剤使用時、色落ちの可能性あります。)
- 乾燥機のご使用はしないでください。
- 熱湯消毒、塩素系漂白剤等は使用しないでください。
- 長時間、水に漬け置きしないでください。
- 直射日光を避け、陰干しし、完全に乾いた状態で使用してください。
- 異物がついたり、汚れた際はすぐに洗濯してください。
- 洗剤によっては蛍光増白剤が移染することがあります。
- ヘッドサポートパッドは洗濯ネットに入れて、デリケートコースなどで洗濯してください。

